

【令和7年度 政策・調整会議】

件名：夢見ヶ崎動物公園再整備計画（案）の策定について

日時：令和8年1月14日（水）13：05～13：09

場所：本庁舎7階特別会議室

●付議理由

開園から70年以上が経過し、公園施設の老朽化に加え周辺環境の変化や社会変容による市民ニーズの変化、気候変動への対応等が必要となっていることから、再整備の基本的な考え方や運営手法等を取りまとめた「夢見ヶ崎動物公園再整備計画」を策定するため。

●付議概要

夢見ヶ崎動物公園の再整備に向けて、「夢見ヶ崎動物公園再編整備計画（案）」を策定する。

<案>

1 再整備の基本的な考え方

基本計画で位置づけた目指すべき将来像「わくわく ふれあい みんなでつくる動物公園」を踏まえ、市民や利用者が「いのちを感じる」場となるよう、次の3つの基本方針に基づく再整備を実施し、五感を使った「いのちを感じる」プログラムを展開しやすい環境をつくることで、「〃都市が自然と共生する姿勢を示す場、共有する場〃としての動物公園」を創造する。

■基本方針①緑と人が出会う 「いのちを育む加瀬山に親しむ」

■基本方針②人と人が出会う 「いのちを大切に作る行動につながる」

■基本方針③生きものと人が出会う 「いのちの鼓動に心がうごく」

2 空間構成と施設配置計画

【里山樹林エリア】緑と人が出会う「樹林や地域の生きものを観察・実感できる」

樹林管理の拠点、階段・散策路、児童公園、駐車場など

【公園エリア】人と人が出会う「家族と、友人と、地域の人と交流する」

芝生広場、展望広場、慰霊塔前広場など

【動物園エリア】生きものと人が出会う「動物たちと出会い・学び・楽しみ・驚く」

獣舎（動物展示）、動物病院、調理場など

3 コレクションプランの考え方

飼育動物の繁殖・調整を進め、将来的に計34種（+α）を飼育する。

4 事業手法・運営手法

事業手法：設計・施工分離発注方式

運営手法：飼育業務は直営（高い専門性と獣医業務との綿密な連携が必要）

駐車場活用・啓発活動等は民間パートナーとの協働により充実

5 想定事業費・スケジュール

想定事業費：約53.2億円（物価水準の変動は考慮せず）

工事期間：令和10～17年度

●結論

案のとおり了承。

